

議決権行使レポート

証券コード 6222

会社名 株式会社島精機製作所

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件		○	
第2号議案 定款一部変更の件		○	
第3号議案 取締役6名選任の件			
島 三博 氏	○		
南木 隆 氏	○		
大谷 明広 氏	○		
北川 尚作 氏	○		
一柳 良雄 氏	○		
残間 里江子 氏	○		

第1号議案 剰余金の処分の件について

結論：反対

ISSの2023年度版日本向け議決行使助言基準によると、剰余金処分の事柄に関して、「・十分な説明がなく、配当性向が継続的に低い場合 ・配当性向があまりに高く、財務の健全性に悪影響を及ぼす場合」を除いて、原則として賛成を推奨する」書いてある。また「配当性向が15%から100%の場合、通常は賛成を推奨する」と書いてある。また島精機製作所は事業の継続的な発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としているとある。ここでここ数年の島精機製作所の配当性向を調べて下にまとめた。

島精機製作所の配当性向の推移

2022 -6.11% 2021 -9.61%

2020 -3.86% 2019 -14.60%

上のものからわかるように島精機製作所の配当性向は0を割っており、マイナスで変動している。これは15%から100%の範囲に収まっていない。配当よりも事業の拡大に資金を集中させている可能性はあるものの大きく配当性向のISSが唱えている範囲から逸脱していて、配当性向は継続的に低く、とくに近年の上昇傾向もみられないことから私はこの議案に反対する。

第2号議案 定款一部変更の件について

結論：反対

ISSの2023年度版日本向け議決行使助言基準を参考にしていく。今回の島精機製

作所の定款の一部変更というのは現行定款第2条の事業目的の追加、変更でありそれは事業内容の多様化に対応するためであると書かれている。I S Sによると目的事項の変更の時は「・継続して企業の業績に問題があり、本業と無関係のリスクの高い分野への参入を求める場合 ・あらゆる事業分野への参入を求める場合 を除いて、原則として賛成を推奨する」とある。島精機製作所の業績をみていくために決算短信で営業利益、経常利益を調べていくと、2022年度は営業利益、経常利益ともにマイナスであり赤字である。(営業利益：△2184 経常利益：△1700 単位：百万円)

2019,2020,2021年も同様に赤字である。よって業績は芳しくないということがわかる。定款の変更内容を見てみると、新設された内容で農業用機器などの機械に関する追加もあり、機械分野の新たな分野に踏み込んで利益拡大を図っていることはとても良いと考えるが、働き方改革支援事業および次世代人材育成支援事業などという機械とは関係のない事業にも踏み出していることが読み取れていったん継続的に業績が芳しくない今は機械のほうに注力するべきであると考えたことから私はこの議案に反対する。しかし年々上昇傾向にあり赤字額は減ってきているといえるのでここ数年で黒字に戻りうるかもしれない。コロナの影響を大きく受けた会社であると思われる。

以下は島精機製作所の過去四年の営業利益、経常利益(単位は百万円)

年度	営業利益	経常利益	△はマイナス
2022	△2184	△1700	
2021	△4268	△3400	
2020	△9143	△7273	
2019	△5602	△8427	

第3号議案 取締役6名選任の件について

島精機製作所は本定時株主総会終結の時を持って、現在の取締役(8名)は任期満了になることから、6名の取締役の選任をしようとしている。そして候補者は全員再任の人たちである。

コロナによって大きな打撃を受けてしまい赤字になってしまったものの(コロナ前は黒字であった)、年々また回復傾向にあり黒字へとそろそろ戻りそうで会社の将来性は見えていっていると考えられる。そのためこのままの状態が続けていくことは適切であると考えて、6名全員に賛成であると考え。一人ずつ理由を書いていくと以下のようになる。

①島 三博 氏：賛成

島氏は1987年に島精機製作所に入社してから研究開発分野、生産分野、営業分野の責任者としての幅広い職務経験があり、取締役として経営に関する豊富な経験や知識を有してとても適切な人材であると考え。また、所有する株の数がとても多いので投資家視点からも客観的に会社を見る力があると考えられるので取締役には最適であると考え。

②南木 隆 氏：賛成

南木氏も経理財務部長の責任者を務めていて、島精機製作所の経営管理に関する豊富な知識と見識を持っていることから企業の持続的成長に必要な不可欠であると思われ取締役には適任であると考えた。

③大谷 明広 氏：賛成

大谷氏は生産部長などに入社以来かかわっており、製品開発から製造分野における豊富な知識と見識を持っていると考えられる。よってこれらの知識を活かして生産部門にさらなる飛躍を起こすのではないかと考えて、取締役には適任であると考えた。

④北川 尚作 氏：賛成

北川氏は経営企画部門の責任者に加えて、コンプライアンス、リスク管理などの内部統制分野なども管掌し様々な分野に精通しているため必要不可欠な存在であると思われ、取締役に適任であると考えた。

⑤一柳 良雄 氏：賛成

通商産業省（現経済産業省）で約三十年の間務めて、さらに株式会社一柳アソシエイツを設立するなど様々な豊富な知識と経験を有しており、より幅広い視点から経営の点を見直せるのではないかと考え、そのことが島精機製作所へとあらたな風をもたらしてくれるのではないかと考え、取締役に適任ではないかと考えた。

⑥残間 里江子 氏：賛成

残間氏は静岡放送株式会社といった広報的なものの経験をしていて、プロデューサーとしてイベントの企画やPR、広報戦略におけるほかの五人の候補とは違った種類の豊富な知識を持っている。残間氏がより島精機製作所の経営戦略を広報などの違った視点から考えて島精機製作所の名をもっと広げてくれるのではないかと考えて、取締役に適任ではないかと考えた。

(参考文献)

(1) [Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf \(issgovernance.com\)](https://issgovernance.com/japan-voting-guidelines-japanese.pdf)

(2) [株価検索\(銘柄名・業種別\)・みんかぶ\(旧みんなの株式\) \(minkabu.jp\)](https://minkabu.jp/)

(3) [株式会社島精機製作所 | 株主・投資家のみなさまへ | IR ライブラリ \(shimaseiki.co.jp\)](https://www.shimaseiki.co.jp/)